

季節のこよみ

- ◇如月（きさらぎ）・・・衣を更に着るほど寒い月の意。雪消月（ゆきげつき）、梅見月（うめみづき）ともいう。
- ◇節分・・・季節の分かれ目を意味し、立春前日のこと。夜には鬼の目を打つ「魔目」（豆）をまき、年の数だけ豆を食べ無病息災を願う。
- ◇閏年・・・地球は365日かけて太陽の周りを1周するが、正確には6時間ほど誤差が生じるため、4年に1回1日増やすことで調節している。
- ◇旬の食材・・・春菊・ふきのとう・いよかん・わかざき



2月の園だより



冷たい北風が吹き、一年でもっとも寒さの厳しい季節になりました。暦の上では『春』となる立春を迎えますが、春の訪れはまだ先の様です。身を縮めてしまうような寒さも、子どもたちにとってはなんのその。園庭で体操や縄跳び、鬼ごっこなど、元気いっぱい体を動かして遊んでいます。また、新しくなったブランコやジャングルジムでうれしそうに遊んでいる姿も見られます。外で遊ぶ子どもは、体力的にはもちろん、精神的にも鍛えられるようで、「先生もいっしょに遊ぼう！」と誘われるなどたくましさを感じます。

寒い冬の一日のスタート、朝ご飯はしっかり食べていますか？

早朝の登園前にはかなり冷え込みます。そんな時は味噌汁やスープなどで体を温めてから家を出るのも、ひとつの工夫です。体も気持ちもぽかぽかにして元気に過ごせるといいですね。



今月の保育目標

- つくし いろいろな遊びの中で
友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
- もも 保育者の仲立ちにより
友だちと同じ遊びをすることを楽しむ。
- たんぽぽ 友達と表現遊びや
簡単なルールのある遊びを楽しむ。
- ちゅうりっぷ 『自分でできた』という喜びを感じながら
意欲的に生活する。
- さくら 冬の寒さを感じ、思いきり体を動かして遊んだり
季節の行事を楽しんだりする。
- ひまわり 小学校の生活に関心を持ち
就学への意欲を高めていく。

生活指導

- *手洗い・うがい・手指消毒をしっかり行いましょう。
- *廊下やテラスは走らないようにしましょう。
- *自分で出来ることは自分でしましょう。
- *おうちの人のお手伝いをしてみましょう。



バレンタインデーについて

いつの間にか「バレンタインデー」が話題となり始め、女の子たちはチョコレート談義に花を咲かせています。幼児期のたあいな恋心は純粋で、とてもほほえましいものです。しかし、実際にチョコレートを授受することで、周囲の子どもたちが不愉快な思いをしたり、トラブルが起きてしまうことも……。

園でのチョコレートのやりとりはご遠慮願います。それぞれのご家庭でバレンタインデーを楽しんでいただけたらと思います。

2月の行事予定

- 3日（火）豆まき
- 6日（金）保育参観（幼児組）
- 10日（火）防災おにぎりの日
- 12日（木）避難訓練
- 13日（金）移動図書
- 17日（火）防犯教室
- 18日（水）一日入園
- 20日（金）園外保育（ひまわり組）
- 25日（水）おべんとうの日

3月の行事予定

- 3日（火）ひなまつり
 - 6日（金）避難訓練
 - 10日（火）防災おにぎりの日
 - 13日（金）移動図書
 - 14日（土）卒園式
 - 20日（金）おわかれパーティー
 - 31日（火）おべんとうの日
- 平成26年度保育終了



卒園式について

日時 平成27年3月14日（土）
午前9時30分より
場所 ひかり保育園 お遊戯室

- さくら組も参加になります。
- 土曜保育はお休みです。ご協力をお願いします。
- 詳細については後程お知らせします。

節分と恵方巻き

季節の節を分けるという意味の節分。現在は立春の前日のことを節分と呼んでいますが、旧暦では立春が年の初めだったので、節分は大晦日に相当します。前年の邪気をすべてはらってしまうための追儺（ついな）の行事の代表が豆まきです。節分の日に、自分の年の数だけ豆を食べると一年間無病息災で過ごせるといわれます。節分の日に食べる「恵方巻き」は、その年の吉方向を向きながら、丸1本にかぶりつくという風習です。関西地方に昔から伝わる風習で、近年になり全国的に広がりました。



- 記名の無い落し物が大変多くなっています。特に下着や靴下に名前のないものが多いようです。持ち物すべてに名前を書きましょう。お願いします。
- 寒いからと何枚も重ね着せず、薄着を心がけましょう。大人よりマイナス一枚を目安にしましょう。
- 暖房器具等でのやけどに注意しましょう。また温度の低い湯たんぽや使い捨てカイロなどでも低温やけどをする場合があります。
- ハンカチ・タオル・コップなど毎日の所持品を忘れないようにしましょう。幼児組さんは、自分で準備ができるといいですね。
- 保育料は期日内に納入しましょう。

